

# まえばし教育通信

## 8月の教育委員会主な行事予定表

日付	行事名	場所	担当課	連絡先
8月1日 ～9月30日	教育資料館企画展 「写真や資料から見る前橋の学校教育 ～戦後から令和にかけて～」	総合教育プラザ3階 教育資料館	教育支援課	230-9091
8月8日、 8月18日	市前学校説明会、 中学生部活動体験入部	市立前橋高等学校	市立前橋高等学校	231-2738
8月22日	ぬいぐるみのおとまり会	こども図書館	図書館	230-8833
8月26日	まえばしロボコン2023 高さで勝負！積み上げるぞ上毛三山	総合福祉会館	教育支援課	224-2548
8月27日	第12回まえばし人形劇フェスタ	中央公民館ホール	図書館	230-8833

※「ぬいぐるみのおとまり会」、「まえばしロボコン2023」、「第12回まえばし人形劇フェスタ」は、応募期間が終了しています。

【市立学校園 始業式の日程】8月28日：市立幼稚園、市立小学校・中学校・特別支援学校、8月31日：市立前橋高等学校

## まえばしロボコン2023 高さで勝負！積み上げるぞ上毛三山

担当：教育支援課 児童文化センター 連絡先：027-224-2548

自作のロボットを操作し競技フィールドにある、赤城山・榛名山・妙義山の三つの造山エリアに紙コップをより高く積み上げて、上毛三山をつくります。

8月26日には、中学生の部、一般の部ともに予選審査を突破したロボットが対戦型のトーナメント方式の本戦で、山の高さを競います。観覧は、無料です。是非会場にお越しください。

日時：令和5年8月26日（土）10時10分から開会式

※コンテストは、10時30分からです。

場所：総合福祉会館2階多目的ホール



◀二次元コードを読み取っていただくと  
公式サイトが閲覧できます。



▲2022年大会の様子

# 郷土への愛着の心を未来へ継承 ～阿久沢家住宅・旧関根家住宅の保存に向けて～

担当：文化財保護課 文化財保護係 連絡先：027-280-6511

阿久沢家住宅は、北関東の平地における典型的な中規模古民家であり、茅葺寄棟造りで建造年代は17世紀末と推定されています。県内でも最古の民家の一つであり、昭和45年に国の重要文化財に指定されました。

また、市指定重要文化財である旧関根家住宅は、本市飯土井町にあった民家を、日本キャンプ大室公園内の民家園に移築・復元したもので、幕末期頃の建物と推定されています。

建物は2階建てで、屋根は茅葺です。養蚕のためのつくりとなっており、正面の屋根を切り落として屋根裏に明かりを取り入れ、通気をよくする工夫がなされています。このようなつくりをもつ住宅は「赤城型民家」と呼ばれています。

この貴重な財産を未来に継承するための工事を実施しており、現在は、観覧を休止しています。

工事場所	工事種類	工事期間
阿久沢家住宅（柏倉町）	耐震対策工事	令和5年6月20日～令和6年1月31日
旧関根家住宅（西大室町）	茅葺屋根の大規模改修工事	令和5年7月1日～令和6年2月23日

工事完了後は観覧を再開しますので、民家の発展の様子や人々の暮らしの変化などをご体感ください。

※工事期間中は、工事見学会の実施を予定しています。市広報やHP等でお知らせいたします。



阿久沢家住宅：国指定重要文化財



旧関根家住宅：市指定重要文化財  
(茅葺屋根は定期的に差し茅・葺き替えが必要)

## ～教育長の想い 令和5年度前橋市子ども会育成研究会 教育長あいさつから～

日本ではこれまで「空気を読む」「和を乱さない」といった「姿勢」が重んじられてきたと思います。しかし、これからの時代は、それぞれの違いを認め、強みを生かし、一緒につくり上げていく「力」が求められるのではないのでしょうか。

「多様化する社会」という言葉がよく使われますが、人はそもそも多様です。バックグラウンドも違い、身体的特徴も違います。ChatGPTと言われる人工知能などの発達も、10年後、20年後にどんな世界をつくっているのか、予想すらできません。今よりもっと、人々の価値観も多様になって、複雑な社会になっているでしょう。

そのような時代に必要なのは、ICTと競うようにハイスペックな人間になることでしょうか。勝ち組となって、ひとり勝ち残ることでしょうか。

みんなが支え合う社会をつくることではないかと思えます。1人の人がすべてを兼ね備えるのではなく、色々な人が持っている力を、自分にはないと認めて、一緒にチームになっていく。たくさんの人と協力しながら、難しい課題に取り組んでいける人になってほしいと願います。

そのためには、人と人を結び付ける力や、やり抜く力、柔軟に物事を考えられる力、和ませる力などが重要です。それらは、数値では測れない力であり、小さい頃のたくさんの体験・経験から身につくのだと思います。